

令和4(2022)年度				年間授業計画			
教科・科目			地理歴史		世界史B		4 単位
対象学年・組			3年生 文系			必履修	
教科書 (出版社)			新世界史B改訂版 (山川出版社)		副教材等	ダイアログ世界史図表 (第一学習社)	
学習目標			・基礎・基本を重視した授業を行い、大学入学試験に必要な歴史用語の確認、歴史の流れを把握させる。 ・対話的な学びや深い学びを意識し、主体的に歴史を考察させる。 ・学習済みの世界史Aの内容を踏まえて、より発展的な内容を学ぶ。				
学期		予定 時数	単元	指導内容		具体的な指導目標	
1	前半	24	○オリエントと 古代ギリシア	・古代オリエント ・古代ギリシア ・ヘレニズム時代		・歴史の基本知識を理解しているかどうか。 ・対話的な学びを通して、主体的に歴史を考察しているかどうか。	
	後半	24	○古代ローマと西アジア	・ローマの発展と帝国形成 ・ローマ帝国の繁栄とキリスト教 ・ローマ帝国の衰退 ・西アジアの諸王朝		・歴史の基本知識を理解しているかどうか。 ・対話的な学びを通して、主体的に歴史を考察しているかどうか。	
2	前半	28	○ヨーロッパの形成	・古代から中世へ ・カール大帝とヨーロッパ ・教皇権の確立と十字軍 ・ヨーロッパの膨張と成熟 ・ヨーロッパの危機と再生		・歴史の基本知識を理解しているかどうか。 ・対話的な学びを通して、主体的に歴史を考察しているかどうか。	
	後半	28	○大交流・大交易の時代	・ユーラシア諸地域を結ぶネットワーク ・東方航路の開拓と大西洋世界の出現 ・世界の一体化の進展		・歴史の基本知識を理解しているかどうか。 ・対話的な学びを通して、主体的に歴史を考察しているかどうか。	
3		36	総まとめ学習	今までの学習内容を統合し包括的に歴史の流れを確認ながら入試問題を解く		様々なタイプの入試問題に取り組み解説を行う。	
評価の観点 (評価基準)			基本的な事項や歴史的な流れを把握し、理解したかを主たる観点とする。				
評価の方法			定期考査のほかに、学習状況や授業プリント・出席状況・朝学習の取り組み状況・授業態度等を加味して評価する。				
学習の手引き			・基礎・基本的な歴史用語や流れを理解すると同時に、様々な観点で歴史を考察する。 ・世界史上の出来事を通して現代社会の諸問題について主体的に考察する。				
授業担当者			中莖 和真				